



## ■今月の表紙

### 「第36回錦鯉全国若鯉品評会」

全日本錦鯉振興会は、2019年3月30日(土)～31日(日)の2日間、新潟県長岡市のハイブ長岡で「第36回錦鯉全国若鯉品評会」を開催する。

この品評会は、錦鯉の飼育技術と国際親善を目的として毎年国内で開催されており、今回で36回を数える。将来性豊かな錦鯉の若鯉を一同に集め開催されるもので、国内で行われる品評会のうち、同会が主催する3大全国大会の1つ。

クールジャパンを代表する錦鯉は、世界中で愛され、また国内でもその価値が見直され、昨今、この地域の錦鯉文化である棚池は、日本農業遺産にも認定されている。

今回の開催地は前回姫路市から開催地を移し錦鯉の原産地である、新潟県長岡市のハイブ長岡で開催される。

錦鯉の原産地である新潟県での開催となる今回は、原産地ならではの企画やセミナーも開催される予定で、過去最多の出品と国内はもちろん、海外、広く世界中から愛されている錦鯉の愛好家やバイヤーなど多数の来場を見込んでいる。

同時開催される夢鯉展は、出品者自慢の錦鯉を展示するもので、同会会員の飼育技術と資質の高い錦鯉を観ることが出来る。

一般公開は3月30日(土) 13:30～17:00、31日(日) 9:00～14:00。

- 4 ● 視点 / 主催者の目的、参加者の立場でミーティングをデザインする
- 6 ● レポート / Gメッセ群馬開業を機に県内周遊の魅力を発信  
3市1町と連携し、広域でのユニークベニュー開発
- 10 ● インタビュー / 大阪・関西の都市格を高め、未来を拓く  
2019年G20大阪サミット関西推進協力協議会 事務局長 吉田 真治 氏
- 12 ● レポート / 創立40周年を迎え、新たな10年を見据え開催  
「SAKURA International Decennial Meeting」
- 16 ● 展示会開催情報 / 工業生産を変える展示会 世界有数の国際金属加工見本市  
「EMO Hannover 2019」  
世界中の業界関係者が集まる  
金属加工のイノベーションプラットフォーム
- 18 ● レポート / 総合ディスプレイ企業 アディスマユーズ  
ADDIS MUSE PRIVATE EXHIBITION 2019 ADDIS WAYを開催  
～あらゆる商業空間をトータルプロデュースする  
「One Stop ADDIS」を具現化～
- 19 ● トピックス / 最大会議室6,000人、12,000人規模に対応する国際会議室  
展示面積10万㎡の展示場、3,000室の宿泊施設を整備  
～世界水準の競争力を備える日本最大の複合MICE施設～  
大阪IR基本構想(案)
- 20 ● 連載 JAPAN MICEのセカンドステージMICE3.0 /  
公共空地の有効利用とPPP/PFI 廃止競馬場から見えるMICE施設の有り方  
JTB総合研究所 主席研究員 東京国際大学 客員教授 太田 正隆 氏
- 24 ● 展示会開催情報 / アジア最大級の食品・飲料総合見本市  
「シアル・チャイナ2019」が規模を拡大して上海のSNIECで5月に開催
- 28 ● 連載 / 展示会マーケティング戦略ゼミ ～出展成果最大化の現場から～  
「展示会とは・来場者とは何か」3)  
「展示会来場者マーケティング」⑩ 施策の「表情」について その23  
展示会研究所 代表 辻井 勝 氏
- 30 ● イベントマネジメント 誌上セミナー / 百貨店を誕生させた博覧会  
跡見学園女子大学 非常勤講師(イベント論) 宮地 克昌 氏
- 32 ● JETRO海外見本市レポート / 米国・シカゴ 北米最大の国際工作機械展示会  
International Manufacturing Technology Show 2018
- 33 ● DMC通信 / サーモンの散歩 34 ● MICE映画館 26・27 ● NEWS
- 35 ● 全国会場別MICEスケジュール